

在来家畜研究会報告の執筆要領

在来家畜研究会報告は、会員からの調査報告（調査の行動経過の概要、カウンターパートによる現地の状況報告などを含む）、調査結果、研究論文（原著論文）、論説、総説等と研究会会記を掲載する。

I 調査結果の原稿作成要領

1. 論文の構成

- (1) 本文が日本語の場合は、原則として、緒言（緒言という見出しあり）、材料（調査材料）、方法（分析方法、調査方法）又は、材料及び方法、結果、考察又は結果及び考察、摘要、文献及び英文 Summary の順とする。
 - (2) 一項目には、論文題目、著者名（所属ごとに肩番号をつける）、所属機関名、本文の順に記載する。
 - (3) 本文が英語の場合は、原則として、Abstract, Introduction, Materials, Methods（又は Materials and Methods）、Results, Discussion（又は Results and Discussion）、References、日本語 Summary の順とする。英文は十分に推敲し、校閲を受けたものが望ましい。原著論文の場合は、専門の英文校閲サービスによる校閲を受けてください。
 - (4) 総説、資料等の構成は論文と同じである必要はないが、単位、引用文献等については本要領に従うものとする。
2. 原稿は、雛形様式に従ってデジタル原稿で作成することを原則とする。原稿ファイルは E-mail に添付して送付するか、CD 等に保存して郵送ください。デジタル原稿の作成には本文は Word、表は Word または Excel、図は Power Point または pdf ファイルを使用し、その他のワープロソフト等で作成した場合は、テキストと pdf ファイルに変換してください。また、電子データの送信時の文字化け等がないか確認するために、原稿を印刷してスキャンしたファイルあるいは全体を pdf に変換したファイルを同封してください。
 3. 図及び表の説明は英文を用い、図及び表の原図は本文とは別のファイルとして作成してもよい。その場合、本文中に挿入場所を指定すること。
 4. 学名、遺伝子記号（遺伝子型、遺伝子座名）はイタリック指定とする。
 5. 数字は算用数字を用い、諸単位の略号は原則として SI 単位を用いる。
 6. 本文が日本語の場合、句読点は「,」と「。」を用いる。
 7. カラー写真の掲載費用は無料とし、別刷りの印刷は原則として著者で行う。
 8. 文献は、論文の場合、著者名、論文タイトル、雑誌名、巻、頁、発行年の順で、単行本の場合は著者名、書名、出版社、出版地名、発行年の順で記載する。

9. 文献記載例

(1) 外国語の単行本

Sokal RR, Sneath PHA. Principal of Numerical Taxonomy. Freeman, San Francisco and London, 1963.

(2) 和文の単行本

野澤 謙, 西田隆雄. 家畜と人間. 出光書店. 東京, 1981.

(3) 外国語の論文

Kuhlein U, Zadworny DD, Gavora JS. DNA fingerprinting : a tool for determining genetic distances between strains of poultry. *Theor. Appl. Genet.*, 77: 669-672, 1989.

(4) 和文の論文

天野 卓, 並河鷹夫, 庄武孝義, Cyril HW. スリランカにおける水牛の血液蛋白多型, 在来家畜研究会報告, 11: 117-128, 1986.

文献の記載順序は, 筆頭著者のアルファベット順とし, 同一著者については年次順とする。

(5) 本文中の引用例

(1) の場合 Sokal and Sneath, 1963

(2) の場合 野澤・西田, 1981

(3) の場合 Kuhlein *et al.*, 1989

(4) の場合 天野ら, 1986

10. 和文並びに英文 Summary は, これだけを読んでも内容が理解されるように, 本文中の図や表を言及しながら記述すること。

* 投稿する際, 「原稿送り状」に必要事項を記載し, 原稿と一緒に送付する。

II 研究論文（原著論文）の投稿について

1. 研究論文の採否は編集委員会の審査を受けた後, 幹事会において決定する。
2. 本誌に掲載された研究論文の著作権は在来家畜研究会に属する。
3. 研究論文は英文または和文とし, 英文の場合は事前に校閲を受けておくことを原則とする。
4. 研究論文の原稿作成要領は調査結果の論文に準ずる。ただし, 摘要, 英文 Summary またはAbstract, 和文 Summary にはキーワード(またはKey words)を末尾に記載する。
5. 投稿の際, 「原稿送り状」に研究論文であることを明記し, 原稿と一緒に送付する。

附 則

この要領は令和 4 年 10 月 1 日より施行する。

原稿の送付先

〒464-8601

名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院生命農学研究科動物遺伝育種学研究室

山縣 高宏

Tel: 052-789-4102

E-mail: tyamag@agr.nagoya-u.ac.jp